

構造物 古い鉄道トンネルの補修と更新

原題：Instandsetzung und Erneuerung von alten Bahntunneln
誌名：EI：Eisenbahningenieur Vol.67 No.10 (2016-10) pp.10-15

スイスの鉄道網は563箇所ものトンネルを有し、その大部分はすでに100年から160年経っており、保守や更新は継続的な課題です。トンネルの状態は6年ごとの全般検査で把握され、それにもとづいて補修や更新の必要性が確認されています。現存する鉄道トンネルの建築上の手入れの大部分は、構造設備の不備だけでなく、国際輸送の新しい使用要求のために行われています。これにともなう最大の挑戦は、費用のかかる物資の運搬をとまなう作業を、運行を継続しながら遂行しなければならないことです。最近では多くの経験が標準作業に生かされつつあります。



出典:Eisenbahningenieur

RhB (レーティッシュ鉄道)におけるトンネル拡張・更新の標準工法：グラチェラストンネル内を貨車で運搬中のコンクリート既製部品

環境 ドイツにおける鉄道騒音低減の取り組み

原題：Tackling noise on multiple fronts
誌名：RGI：Railway Gazette International Vol.172 No.9 (2016-9) pp.71-72

ドイツでは鉄道騒音が政治問題化しています。DB (ドイツ鉄道) および運輸省は鉄道騒音低減計画を立ち上げ、メーカー・大学などへ鉄道騒音低減手段の開発促進を働きかけました。DBはそのための試験区間を2箇所選定し、試験は2017年に開始されます。DB Cargo社は2020年までに貨車を合成制輪子に交換し、騒音は10dB低減すると見込まれます。国内15箇所に騒音測定基地が設けられ、効果の検証が行われます。政策としては、騒音規制に適合しない貨車の線路使用料の上乗せ、防音壁などへの投資、騒音基準を満足しない貨車の走行禁止などが実施されています。ドイツ、スイス以外のEU諸国は貨車の騒音を問題視していません。



出典:Railway Gazette International

貨車の50%に合成制輪子を取り付けると発表 (ドイツの運輸相とDBのCEO)



出典:Railway Gazette International

高速新線に設置された防音壁

輸送 統合国家における鉄道の役割

原題：Rail's role in an integration nation
誌名：RGI：Railway Gazette International Vol.172 No.10 (2016-10) pp.28-31

マレーシア政府は経済成長を支えるために鉄道を支援しています。シンガポール～タイ間と同様に、発展する首都と地方のつながりを改善しつつあります。同時に、SPAD (陸上公共交通委員会) は遺産としての本線ネットワークを近代化し、異種の都市鉄道に関する技術を統合しなければなりません。最も重要なポイントの一つは、旅客が異なる交通モード間を移動することができる、交通ハブを開発することです。



出典:Railway Gazette International

主に非互換のテクノロジーの多様性を特徴としたクアラルンプールの鉄道ネットワーク

車両 アイルランド初の豪華クルーズトレイン

原題：Luxury train targets Irish heritage
誌名：RGI：Railway Gazette International Vol.172 No.10 (2016-10) pp.54-55

アイルランドで初めての豪華クルーズトレインの出発式が2016年8月30日に行われました。客車は古いMark III形を改造した10両編成で、牽引機も含めた長さは252mとアイルランドの旅客列車では最長です。内装はアイルランドの伝統的なデザインを現代風にアレンジしています。客室はわずか20室で定員は40名です。アイルランド共和国を巡る4日間のツアーと英領北アイルランドの2日間のツアーが設定されています。2016年分はすべて売り切れており、2017年は4月25日から運行されます。価格は4日間が5,420ポンド、2日間が3,160ポンドです。



出典:Railway Gazette International

豪華な内装の展望車のラウンジ



WRT (海外鉄道技術情報) は海外主要鉄道誌の記事抄訳を含め、海外の最新の鉄道技術情報をタイムリーに紹介する季刊誌です。ここに紹介した記事はその一部です。

⇒新刊案内、バックナンバーは総研HP (www.rtri.or.jp) をご覧ください。

⇒問合せ (研友社) TEL: 042-572-7157 HP: www.kenf.jp